

つどいの広場のネットワーク



「堀江つどいの広場」の開館日は月曜日～金曜日（祝祭日・年末年始を除く）と毎月第3日曜日、開館時間は9：00～17：00です。

このコーナーでは「つどいの広場」事業を連載します。「つどいの広場」事業は、親子が気軽に立ち寄れる居場所づくりなどを目的としています。
「つどいの広場」事業の概要については <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/kosodate.html> をご参照ください。

「堀江つどいの広場」(千葉県浦安市)

特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ浦安中央拠点「あかいとり」が運営する「堀江つどいの広場」は、平成15年12月にスタートし、今年で利用者はのべ3万人を超えました。子育て支援の需要が高まる浦安市で、「堀江つどいの広場」は、日々、地域のお母さんたちをサポートし続けます。

浦安市より委託を受けて 平成15年にスタート

特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ（通称・ナルク）浦安中央拠点「あかいとり」が運営する「堀江つどいの広場」は、浦安市堀江の閑静な住宅街に開設されています。ナルクは全国に活動拠点を持つボランティア団体で、高齢者・障害者の支援や介助、三世代子育て支援、環境美化などのボランティアを活動の柱としています。中でも丸5年をむかえた「堀江つどいの広場」の利用者はのべ3万人を超え、地域の子育て支援事業としての順調さが窺えます。

代表の戸澤昌子さんは、「堀江つどいの広場」設立の経緯について、「浦安市の高齢化は約9%。若いお母さんが多く、子育て支援の必要性をつくづく感じていました。もともとナルクでも公民館などの施設を借りて子育て支援をしていたのですが、『つどいの広場事業』のを知り、それならばぜひ浦安市にもつどいの広場を開設したいと思いました」と話します。

子育て支援については、浦安市側にも戸澤さんたちと同様の思いがあったようです。ナルクの子育て支援活動が評価され、平成15年12月より市からつどいの広場の運営を正式に委託されることになりました。以前は町の診療施設として使用され、現在は市の文化施設にもなっている洋館風の住居「旧濱野医院」を使用して、「堀江つどいの広場」をスタートさせました。

「運営を完全に委託されているので、イベントなど、やりたいことを自由にできて気が楽です。ただ、運営自体は厳しいので、やりたいことはたくさんあっても実行まではなかなか」と戸澤さん。理想と現実の間には少なからずギャップがつかまとうようです。

そこで思いついたのが、つどいの広場に集まるお母さんたちが講師を務める「学びの広場」です。栄養士の資格を持つお母さんに「食育講座」を開い



NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ
浦安中央拠点「あかいとり」
代表 戸澤昌子さん

目次

つどいの広場ネットワーク2

平成18年度助成事業に関する
事後評価について4

平成20年度長寿・子育て・障害者基金
助成事業の決定状況12

平成20年度長寿社会福祉基金
「特別分」助成事業一覧14

平成20年度高齢者・障害者福祉基金
「特別分」助成事業一覧15

平成20年度子育て支援基金
「特別分」助成事業一覧16

平成20年度障害者スポーツ支援基金
「特別分」助成事業一覧17

平成20年度高齢者・障害者福祉基金
「地方分」助成事業一覧18

平成20年度「地方分モデル事業」
(若年性認知症の人と家族への相談、支
援、啓発事業)助成事業一覧27

平成20年度子育て支援基金
「地方分」助成事業一覧27

平成20年度「地方分モデル事業」
(携帯電話メールによる子育て情報配信
事業)助成事業一覧36

平成20年度「地方分モデル事業」
("ふるさと"ふれあい子育て支援事業)
助成事業一覧36

平成20年度障害者スポーツ支援基金
「地方分」助成事業一覧37

スポットライト39
児童虐待の防止等に関する法律の
改正

福祉活動最前線40
4年に1度の祭典
北京パラリンピック競技大会

チャレンジレポート46
・社会福祉法人豊田市福祉事業団
・特定非営利活動法人ヘルスプロモー
ションかごしま
・特定非営利活動法人芹川

再録 メイコのいきいきモーニング ...52

東西南北54

福祉関係シンボルマーク55
海の障害者マーク

「WAM(ワム)」は、福祉(Welfare)と(And)医療(Medical service)の頭文字をとって名づけられた、独立行政法人福祉医療機構の略称です。



**第3日曜日はお父さんも
つどいの広場に積極的に参加!**

一方で、「堀江つどいの広場」では、お父さんの育

てもらったり、帽子作家のお母さんには「帽子作り教室」の講師をお願いしたりしています。

「妊娠・出産と同時に仕事を離れざるを得ないお母さんや、育児に専念しながらも、社会からの孤立を恐れているお母さんはたくさんいます。初めは、私の方から資格を持つお母さんに講師のお願いをしていたのですが、「実は私もこんな資格を持っているので、講習会をやってみたい」と立候補してくださるお母さんも出てきて、やはり女性も社会的な活動の場を求めているのだと実感し、今後機会があれば活躍していただきたいです」と戸澤さんは話します。



毎月第3日曜日に開催される「パパと遊ぼう プラレール」では、お父さん同士の会話もはずみます。

節のイベント、手作り教室、旧濱野医院の庭を利用したの野菜づくりなど、様々なイベントを催して親子や親同士のコミュニケーションを図っています。

日々の忙しいお母さんたちがホッとできる時間と場所を少しでも提供できたら、戸澤さんをはじめとするスタッフたちのそんな思いと、それに応える親子の笑顔が、今日も堀江つどいの広場には溢れています。

児参加も積極的にサポートしています。毎月第3日曜日は、鉄道模型のおもちゃである「プラレール」を開放し、親子で遊んでもらうイベント、「パパと遊ぼう プラレール」を開催。プラレールというアイテムを通じて、父と子だけでなく、お父さん同士のコミュニケーションが広がったそうです。その他にも、毎月恒例のお誕生会をはじめ、クリスマスや七夕など季節のイベント、手作り教室、旧濱野医院の庭を利用したの野菜づくりなど、様々なイベントを催して親子や親同士のコミュニケーションを図っています。

一方的にサービスを提供するのではなく、利用者同士がコミュニケーションを図り、助け合う。そのきっかけとなるのがつどいの広場であり、スタッフは全力でサポートする。「堀江つどいの広場」には、自立・奉仕・助け合いをモットーに、これを「生きがい」とするナルクが精神がまさに活かされています。

取材協力

特定非営利活動法人ニッポン・アク
ティブライフ・クラブ浦安中央拠点
〒279-0041
千葉県浦安市堀江1-25-22-
205(木村方)
TEL. 047-355-3299
http://nalc.jp(本部)